

家族でニコニコチャレンジ① 取り組みの様子



平成25年6月～7月実施

基本的な生活習慣の確立と自立心の育成をめざして！

「家族でニコニコチャレンジ」第1回目の取り組みに関して、ご報告いただきました。今回はチャレンジ期間が終わっても継続したいな、身に付けさせたいなという保護者の感想が多く、基本的な生活習慣の確立や就学への意識の重要性を感じていることが伺えました。基本的な生活習慣が生きる力の土台になります。しっかりした土台作りのために、今回の取り組みをいかしていただきたいと思います。

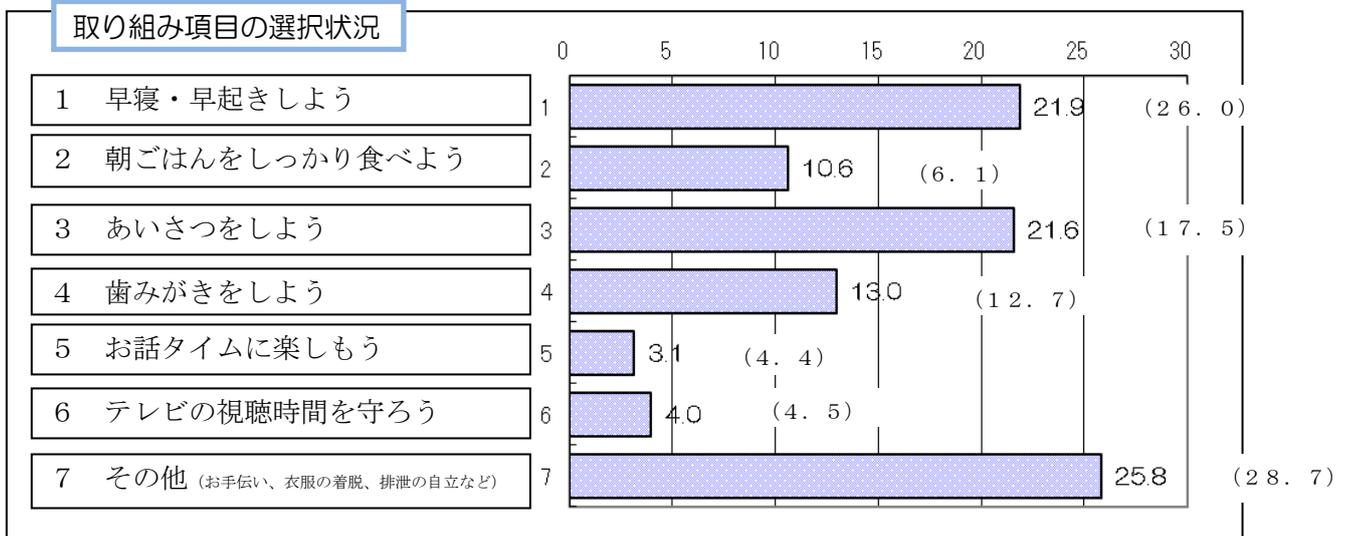
<取り組み状況>

集計協力園 47園 / 47園

回収率…93.5% (報告園の提出者数 / 報告園での配布者数)

()内は、昨年度の結果

取り組み項目の選択状況



保護者からの感想等

「子どもの様子に関わる感想」

①最初は声掛けが必要で姉に頼ることが多かったですが、後半は習慣となり、自ら進んで「もうやったよ」と頑張ってくれました。(部屋の片づけ)

②基本的なあいさつを自分からできるようになりました。あいさつができるようになり、コミュニケーションもだんだん上手になってきたと感じます。

③習慣づけることで、毎日の生活にメリハリがつくと思うので良いチャレンジだった。

④家庭での会話が増えました。また、父親とのお話が楽しくなったようで、様々の出来事を報告してくれました。

⑤毎日決まった時間にしっかりと食べることができました。時におかわりもして朝から元気いっぱいでした。

⑥早起きが苦手だったが、6時半に起きられるよう夜早めに寝るようにしていました。おねしょもなくなり自信がついたと思います。

⑦自分から「アッ」と気づいてテレビを消し前向きに取り組んでいました。後半はテレビがなくてもなんともない日があり、チャレンジ終了後もテレビをつけずに食えることが多くなりました。これを機に続けていきたいです。

⑧朝起きたら、自分で着替えをすることに取り組めました。後半には寝る前に次の洋服を選ぶようになりました。かまってあげたい大人たちの我慢の2週間でもありました。

⑨少し難しいチャレンジだったようでなかなかニコニコがつけられず残念でした。でも最後のほうはニコニコつけたい！！という思いが見えてきたので、チャレンジしてよかったと思う。(早寝早起き)

《家族の関わり方に関する感想》

① 早寝をするつもりでも、ついているテレビに見入ってしまったり家族の協力を得られないと難しく感じました。

② 親自身の生活も変えなければならぬと反省しました。

③ 親の声掛け見守り方によって意欲が変化すると痛感しました。

④ 挨拶を忘れることが多く照れることも多かった。家族間で声を掛け合い、身に付けさせたい。

⑤ このチャレンジを機会に意識がかわった。親の都合で促してあげられないことがあったので努力の必要を感じた（親が）

園からの感想等

《親子で取り組むことの効果に関わる感想》

① 親子で話し合い決めたことなので、親の意識が高いうように感じた。

② 親の都合による時間の使い方から子どもの生活リズムを意識するようになり、子どもとともに基本的な生活習慣作りに取り組んでいると思います。園にもすがすがしい表情で遅れずに登園してきている子がほとんどです。

③ おうちの人からの欄には子どもの姿を認め、成長を感じたりおうちの人自身が反省したりとお互いがしっかり意識して認め合える取り組みになったと思いました。

④ 早寝早起きにチャレンジした子の生活のリズムが以前よりよくなった。（朝、余裕ができ、登園時に朝食をきちんととり、機嫌も良いようだ）

⑤ お話タイムやテレビの視聴時間の取り組みが少なかったのに対し、習い事に取り組んだ家庭もあったので、もう少し内容を生活面に重点を置いて取り組んでほしい。

⑥ 親子で意識して取り組んでいる家庭と、親も忙しいので一人でやってほしいと思っている家庭とがあるようです。自ら気づいてできるようになるためにおうちの方の声掛けや手助けも必要であることを理解していただきようにしていきたいと思えます。

《第2回の取り組みに向けて、園から家庭への働きかけの計画》 …回答のあった47園の記述より

- ◇ 学校便り・クラス便りに取組状況を掲載して、働きかける。（24園）
- ◇ 懇談会等で話題にして、働きかける。（12園）
- ◇ 子どもたちに話し合いや声掛けなどにより働きかける（5園）
- ◇ 取り組みカードを掲示して、1回目と比較しながら意欲付けを図る。（3園）
- ◇ 基本的な生活習慣が身につけられるように、家庭に合わせた声掛けをしていく（4園）
- ◇ カードにコメントやシールを貼り、頑張りを認める。（2園）

今回の取り組み結果と次回の取り組みに向けて

☆ 今回の取り組み結果 …各園の報告から… ☆

- ・ 昨年度の同時期に比べ、朝食摂取への取り組みが4.5ポイント増加した。
- ・ 親子で取り組み目標を考えることにより、テレビ視聴や挨拶など「家族で」見直しを考える機会になったようである。
- ・ 園では、早寝早起きや朝食摂取などに取り組んだ子どもの変化を感じている。チャレンジ期間中、子どもたちの中でもニコニコチャレンジの話題が出ることから、取り組みについての話し合いをもったり、発表をしたりするなど直接子どもに働きかけていく園もあった。園便りやクラス便り、懇談会などで一斉に啓発するだけではなく、カードを掲示したり、送迎時に保護者に声をかけたりしている。感想では、文字の学習や習い事へ向けた頑張り目標を立てることではなく、基本的な生活習慣の確立を目標とすることを意識づけたいということがあった。また、家庭によって取り組みの意識に差があることも明らかになった。

☆ 次回の取り組みに向けて ☆

- ・ 基本的な生活習慣の必要性の確認、保護者の感想など、子育て講演会やニコニコ便りなどでニコニコチャレンジの取り組み結果を周知する。
- ・ 園での取り組みの工夫を提示することで、園から家庭への働きかけを促す。